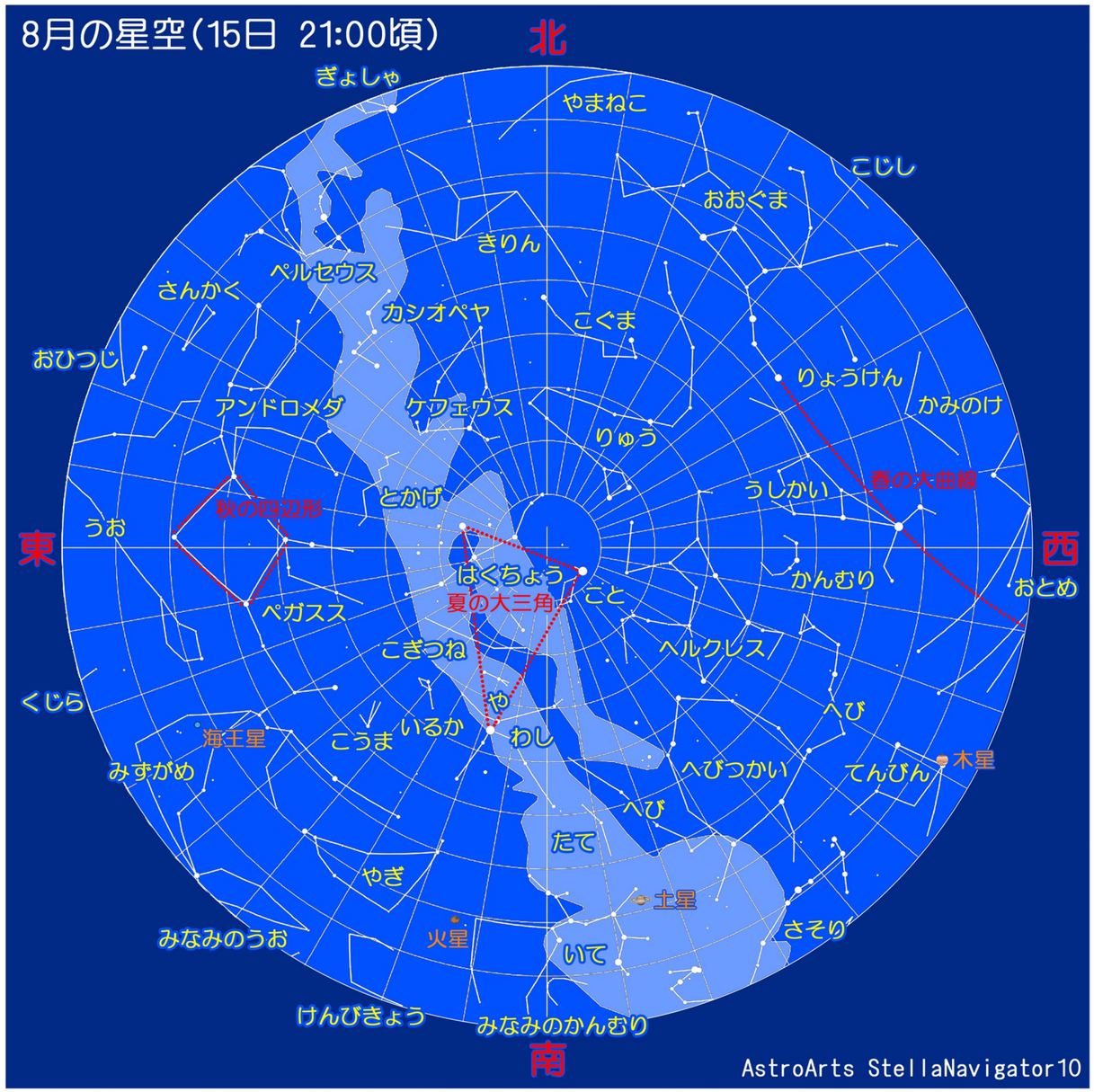
銀河の森天文台
2018年8月みどころ天体情報

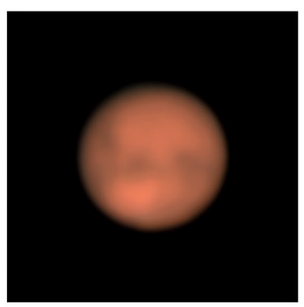


今月のイチオシ！

☆火星

今年は火星までの距離が5759万kmまで近づく、大接近の年です。最接近は7月31日に終えてしまいましたが、8月いっぱいは明るく大きな火星を見ることができます。最接近前に大規模な砂嵐が発生し、火星の表面の模様が見にくい状態が続いていましたが、徐々に砂嵐もおさまってきて模様が見えてきています。火星の観察はこれからが本番です！

太陽からの距離：約2億2790万km



火星

月

		出	没
5日	下弦	22:59	12:22
11日	新月	03:36	18:35
18日	上弦	11:53	22:26
26日	満月	18:10	04:00

天文台から月を見ることができるのは14～30日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。

距離：約38万km

土星

見事な環を持つことでおなじみの土星が見頃を迎えます。今年は環が開いて見える事から、カッシーニの空隙が観察しやすくなっています。また、土星の環は99.9%が水の氷からできています。

太陽からの距離：約14億3000万km

海王星

太陽系で一番外側を周る惑星、海王星が見えてきました。遠いために、あまり大きくは見えませんが、直径は地球の約4倍もあります。淡い青色に見えるのが印象的です。

太陽からの距離：約45億km

M13（球状星団）

ヘルクレス座に位置する明るい球状星団で、位置さえ知っていれば、双眼鏡でも簡単に見つけることができます。望遠鏡では、中心部まで星が密集した、見事な姿を観察することができます。

距離：約2万5100光年

M57（惑星状星雲）

リング状星雲、ドーナツ星雲などと呼ばれるように環の形に見える星雲です。

これは、恒星が一生を終えようとするときに放出したガスが光っているものです。

距離：約2600光年

M11（散開星団）

いて座とわし座の間の天の川の濃くなっている部分たて座にある密集度の高い散開星団です。

望遠鏡では、視野いっぱいに星が散らばる様子を観察することができます。

距離：約5610光年

M27（惑星状星雲）

こぎつね座に位置する惑星状星雲で、鉄アレイのような形に見えることから、アレイ状星雲と呼ばれています。

明るく大きな惑星状星雲で、双眼鏡でも見つけることができます。

距離：約820光年

ちょっとマニア

- NGC6543（惑星状星雲）

りゅう座に位置する惑星状星雲で、猫の眼の様に見える事からキャッツアイ星雲という愛称がついています。とても複雑な構造をもっていて、りくり望遠鏡でその一端を見ることができます。

距離：約1690光年

その他おすすめ

- M2（球状星団）
- M15（球状星団）
- M71（球状星団）
- NGC6826（惑星状星雲）
- NGC7009（惑星状星雲）
- アルビレオ（重星）

8・9月の銀河の森天文台カレンダー

8月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

9月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24	25	26	27	28	29

開館時間

14:00～22:30
（4月～9月）

13:00～21:30
（10月～3月）

休館日